



# 『人権の花』贈呈式

6月27日、大坪小学校で『人権の花』贈呈式がありました。

『人権の花』運動は、年間を通して花の植栽や管理を通じて、児童の思いやりや協力する心を育てようと、唐津・伊万里人権啓発活動地域ネットワーク協議会が、伊万里市などの小学生を対象に行っているもので、今年は大坪小学校の児童が取り組みます。

児童たちは、慣れない手つきながらも、贈られたマリィーゴールドなどの花苗を大切に植えていました。植栽のあとは、先生たちの演奏に合わせ全校児童が『世界に一つだけの花』を合唱し、一人一人が思いやりの心を持つことを歌で表現していました。



↑花は子どもたちによって大切に育てられ、秋には観賞会を行う予定です



# 男女格差なき社会へ

今年も『男女格差（ジェンダーギャップ）』に関する世界ランキングが発表され、日本は148か国中118位と、先進7か国のなかで最下位でした。特に、女性閣僚の減少が影響し、政治分野のスコアが後退しています。経済分野でも、女性管理職の割合が127位と著しく低く、男女間の賃金格差も依然として大きいです。

教育分野では、高等教育機関への進学における男女格差が課題となっていて、とりわけ理系分野への女性の進学率は、いまだ低迷しています。

政治分野では、女性の活躍を広げていくために、国会議員や閣僚だけでなく、その土台を支える市議会や県議会といった地方政治の場においても、女性の参画がより一層求められています。これまで男性の分野とされてきた財政や公共工事などの政策領域においても、女性議員の分析力や判断力を高めていくことが重要です。

経済分野では、企業の経営層による意識改革が不可欠で

す。男女の役割に対する固定観念や『アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）』を見直し、出産や家事といったライフイベントへの理解と支援を社会全体で進めていくことが望まれます。

ある女性自衛官から「女性隊員の地位や能力を高めるために、スキルアップの仕組みづくりや男女双方の意識改革が進められています」との声が寄せられました。これは、自衛隊のような男性中心と見られがちな組織でも、確かな変化が生まれていることを示しています。

男女格差のない社会を実現するためには、私たち一人一人が「平等を求めながら、これはやらない、あれはやりたくない」といった意識を改める必要があります。誰かに変化を求めるのであれば、自らも覚悟を持ち、行動することが求められます。互いを尊重し、支え合う社会の実現に向け、まずは一步を踏み出していきましょう。

（伊万里市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』委員）

## ● 問合せ

企画政策課男女協働・婚活応援係 ☎23-2115

# 郷土の文化財

● 問合せ 生涯学習課文化財係 ☎22-1216

## 遺跡余話 『旧石器時代の替刃式石器』

7月号に続き、松浦町桃川にある大光寺遺跡から出土した石器を紹介します。

写真右の石器は、約2万5千年前の黒曜石製のナイフ形石器です。左側が刃の部分で、右側は刃を打ち欠いて潰し、包丁のように峰をつくっています。短い柄をつけてナイフのように、また、長い柄をつけて槍のように使われていたと考えられます。

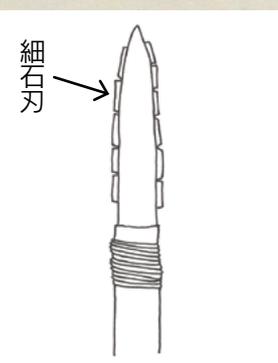
写真中央と左の石器は、約1万4千年前の『細石刃』と呼ばれるものです。細長い両側が鋭い刃になっていて、軸

にはめ込んで使用されていたと考えられます。軸にはめ込む際の接着剤には、動物の皮や骨などを煮て作った膠が使われたと考えられています。

ナイフ形石器は、完成するまでに時間がかかり、折れると使えなくなりやすい。一方、細石刃は、刃の部分だけをつくるため、短時間で大量につくることが可能で、さらに、刃が欠けても、欠けた部分だけを取り替えることができる『替刃式』の便利な石器として、旧石器時代に活用されていました。



→ ナイフ型石器（右）と細石刃（中央・左）



→ 細石刃をはめ込んだ槍の想定図